

第14回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜 セミナー・展示会活動報告

(社)日本技術士会・防災支援委員会委員長 大元 守

1. 「横浜震災展」セミナー活動報告：

- ・開催日時：2010年2月4日（木）10:00～12:00
- ・開催場所：パシフィコ横浜/アネックスホール2F 206会議室
- ・主催：社団法人 日本技術士会 防災支援委員会
- ・テーマ：『災害と地域コミュニティのあり方～三宅島噴火から10年、復興に学ぶ～』
- ・開催趣旨：東京都三宅島・雄山の噴火からまもなく**10年**、現在の三宅島の状況、島民の避難生活、復興の現状について、住民、技術者、行政のそれぞれの関係者から報告、意見を頂き、地域コミュニティ継続のあり方について議論した。本セミナーでは、当時の東京都副知事として陣頭指揮に当たられた青山侷(やすし)明治大学大学院教授に、基調講演とパネル討論のアドバイザーをお願いした。

基調講演：『三宅島噴火災害に学ぶ専門』

青山 侷 明治大学大学院教授(元都副知事)

青山教授からは、噴火当時の状況と従前の噴火とは様相が異なり島の避難勧告で混乱が生じたこと、まず現地に責任者が行くことの必要性等について紹介があった。

また、避難・復旧・復興活動でのそれぞれの役割に触れ、行政による道路・砂防ダム等の公共施設の迅速な復旧・情報発信、民間による島に残ったの電気・水道・復旧調査、市民のボランティア活動による島民ふれあい集会等による地域の団結・孤独死の防止等の活動の紹介があり、地域継続での“市民活動の重要性”と“安全な生活を営めるための技術者の使命”の話で締めくくられた。



写真-1 青山先生の基調講演



写真-2 講演者の青山先生、斎藤課長、宮下氏

◆ 『三宅島噴火災害から10年～三宅島は今～』

斎藤 實 東京都総合防災部情報統括担当課長

斎藤課長からは、島民の島に帰りたいという強いエネルギーとインフラ基盤整備が帰島の方向付けとなったとの紹介があった。

次いで、現在の三宅島の観光入込み客の推移や産業活動の復興状況を紹介する中、島復興のため、自然の宝庫の三宅島に是非行って、島の観光産業に少しでも貢献してほしいと締めくくられた。

◆ 『三宅島復旧～帰島への道のり～』

天野 篤 アジア航測(株) 技術士

天野氏からは、火山灰による泥流で公共施設・ライフライン等に甚大な被害をもたらしたこと及び砂防ダムの復旧が島民の帰島において重要な役割を果たしたことが紹介された。

これからの復興を考えると、暮らしに目を向けた地域コミュニティの長期的再生のために被災者の立場に立った仕組みづくりが求められるべきとの提言があった。



◆ 『地域コミュニティと災害復興』

宮下 加奈 防災士研修センター研究員(島民)

宮下氏からは、避難生活に関して生活の場はバラバラだけど、それぞれの地域コミュニティの中で人間らしい生活が送れた利点と、分散してしまったことによる地元コミュニティの欠落の功罪両面からの報告があった。

島民が集まる「ふれあい集會」については、大手バス会社の送迎支援等、高齢者にとって非常によかったこと、地域ごとののぼりを立てて連帯感の結束が図れたことが紹介された。三宅では、災害がなくても、少子・高齢化が進むのは必至で、日頃からの地域コミュニティづくり・地域活動意識が大切と結ばれた。

各自の報告の後、山口防災委員会副委員長のコーディネートで、セミナー参加者 66 名の会場からの意見も含めて、地域コミュニティ継続に関する活発な意見交換が行われた。



写真-3 講演者と会場風景



写真-4 講演者の天野氏、山口副委員長

2. 「横浜震災展」ブースの展示及び「防災・減災よろず相談所」の開設

(1) 震災展ブースの展示：2月4日～5日

- ・例年通り間口、奥行きとも3mの会場にパネル、図書、パンフレット、防災カード等を配置した。
- ・ロール形式のパネルを今回新たに作成した。持ち運びが容易なので、今後はイベント等での再活用を図っていきたい。

(2) 「防災・減災よろず相談所」の開設

技術士が社会貢献活動をしていく方策の一つとして、試みに「防災・減災よろず相談所」と銘打って相談コーナーを開設した。事前に震災対策技術展主催者側のインターネット上でも案内したのでこれを見て相談に来た方もあった。2日間で11件の相談があり、社会貢献活動として、大変有意義な活動と思われるので、今後継続する考えである。



写真-5 ロール形式のパネル



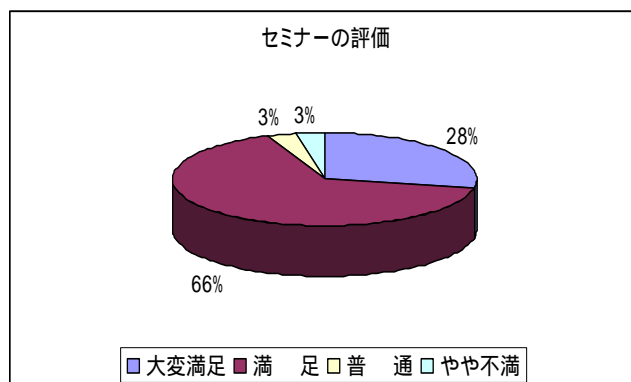
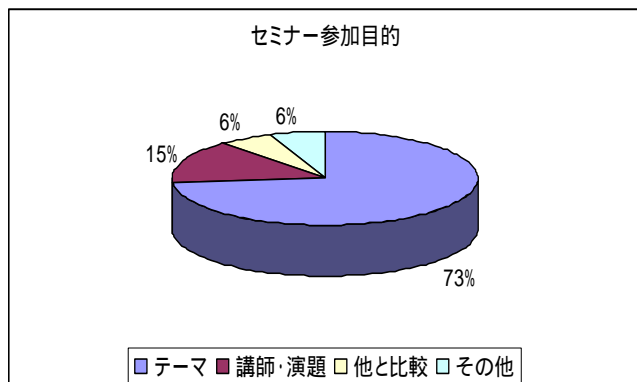
写真-6 技術士会ブースとよろず相談風景

《主な相談内容》

- ・市役所の“危機管理”を行いたので、講習会・技術的な支援を相談したい。
- ・家を建てる時にどんなことに留意すれば良いか意見を聞かせてほしい。
- ・「防災土のう」を開発したので、普及、販路拡大のアドバイスをほしい。 等

3. セミナー参加者のアンケート結果

セミナーには、66名の参加者があり、32名の方からアンケートの回答を頂いた。



セミナー参加された方の7割は、テーマに関心があつて参加されており、9割以上の方がセミナーの講演内容・講師・配布資料等に満足頂いた。

今後のセミナーテーマとしては、「IT技術と災害対策」「災害の経験事例に学ぶ」「都市部における有事の地域コミュニティ継続のあり方」等の意見を頂いた。今後の参考としていきたい。